

子宮内膜増殖症

どんな病気？

子宮内膜は月経周期に伴って分厚く増殖して、月経時には剥がれ落ちて出血します。子宮内膜が異常に分厚く増殖しいろいろな症状を引き起こす場合があります、このような状態を子宮内膜増殖症と呼ばれています。

内膜を構成する子宮内膜腺の細胞の核が変になっているものは細胞異型があるといわれます。この場合は子宮内膜異型増殖症とよばれます。別の分け方として構造上の特徴から単純型と複雑型に分けられます。細胞異型の有無が非常に重要です。



異型なし：

子宮内膜増殖症癌化の可能性は低い
単純型子宮内膜増殖症と複雑型子宮内膜増殖症があり
がんへの進行は 1-3%といわれています。

異型あり：

子宮内膜異型増殖症 前癌状態であると考えられています。
単純型子宮内膜異型増殖症と複雑型子宮内膜異型増殖症があります。
癌化のリスクが高く、単純型で 8%程度、複雑型で 29%とされています。

検査法

子宮内膜の組織診を行って異型の有無や子宮体癌との識別をします。
当院では超音波検査にて疑わしい時は、まずピペットキュレットと呼ばれるソフトな器具にて子宮内膜組織を吸引採取します。

治療法

異型の有無と、年齢、今後の出産希望の有無により治療法を選択されます。
自然経過で経過観察 定期検査
ホルモン療法(ピル プロゲステロン剤など)
偽閉経療法
子宮内膜全面搔破
子宮摘出手術(異型があり、高齢や出産を希望されない場合)